



## 第1章

# かながわの現況

- 1 人口の動向
- 2 市街化の動向
- 3 住宅と世帯
- 4 まちの面的整備
- 5 生活基盤
- 6 公園と緑地の整備・保全
- 7 景観形成の取組み
- 8 暮らしの今
- 9 産業の状況
- 10 交通・物流

# 01 人口の動向

## 1 人口の推移

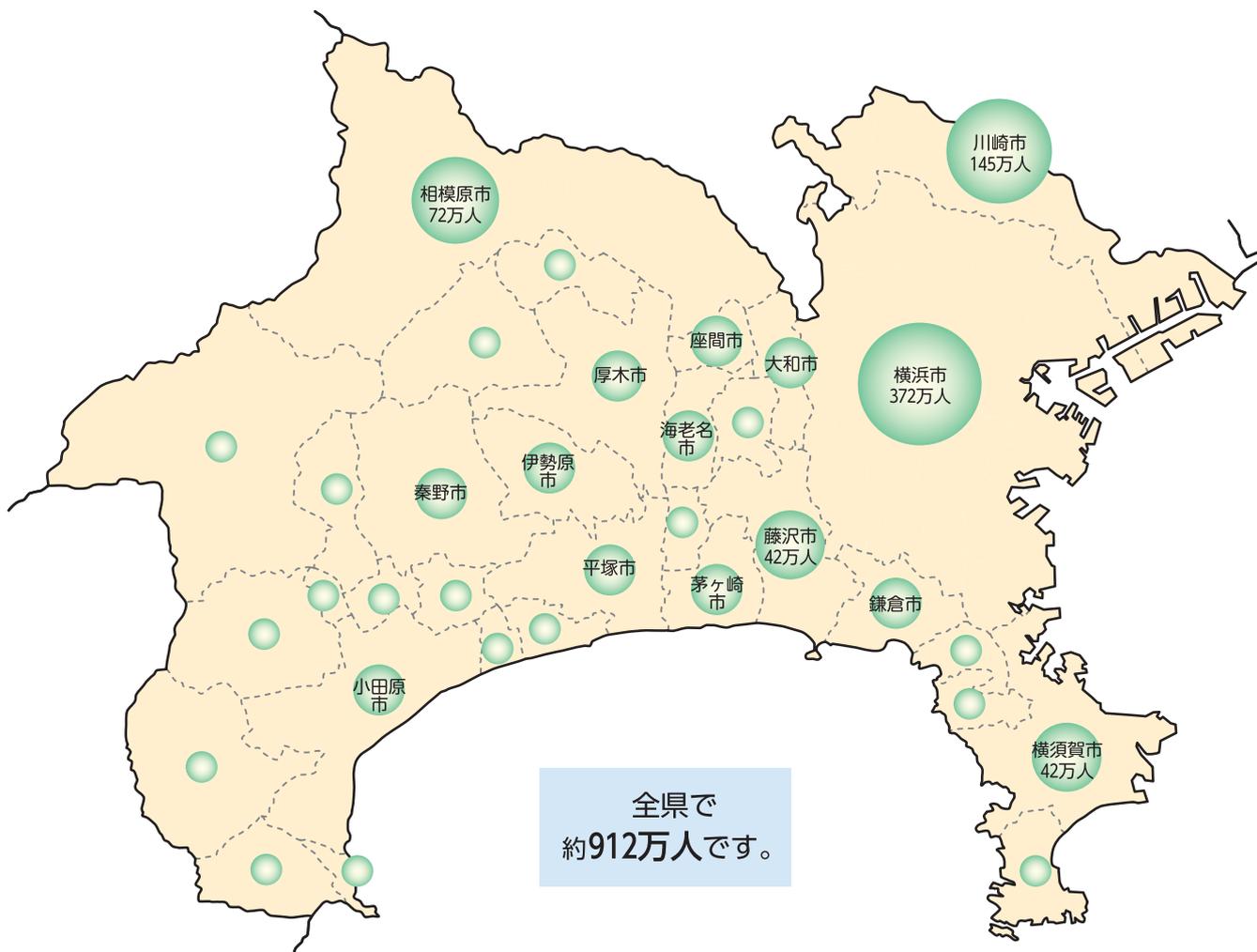
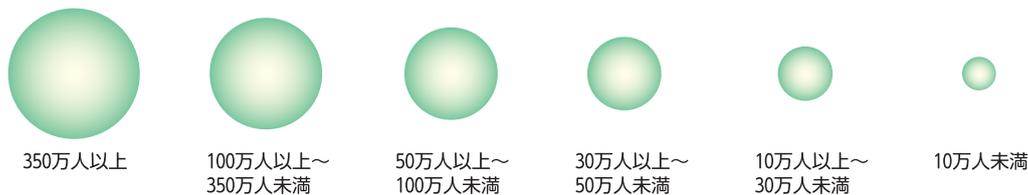
神奈川県は 2015（平成 27）年 1 月現在で約 912 万人です。これは東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の総人口のおよそ 4 分の 1 にあたり、東京圏では東京都について 2 位となっています。

県の人口推移をみると、高度経済成長期（1950 年代半ば～ 1970 年代初頭）を中心に急激に増加し続けましたが、1990（平成 2）年以降はゆるやかな増加傾向が続いています。

人口増加の要因としては、出生者数が死亡者数を上回る「自然増」と、転入者数が転出者数を上回る「社会増」があります。2000（平成 12）年以降は社会増が続いていますが、自然増減をみると 2014（平成 26）年に死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じました。これは 1958（昭和 33）年の調査開始以降で初めてのことです。

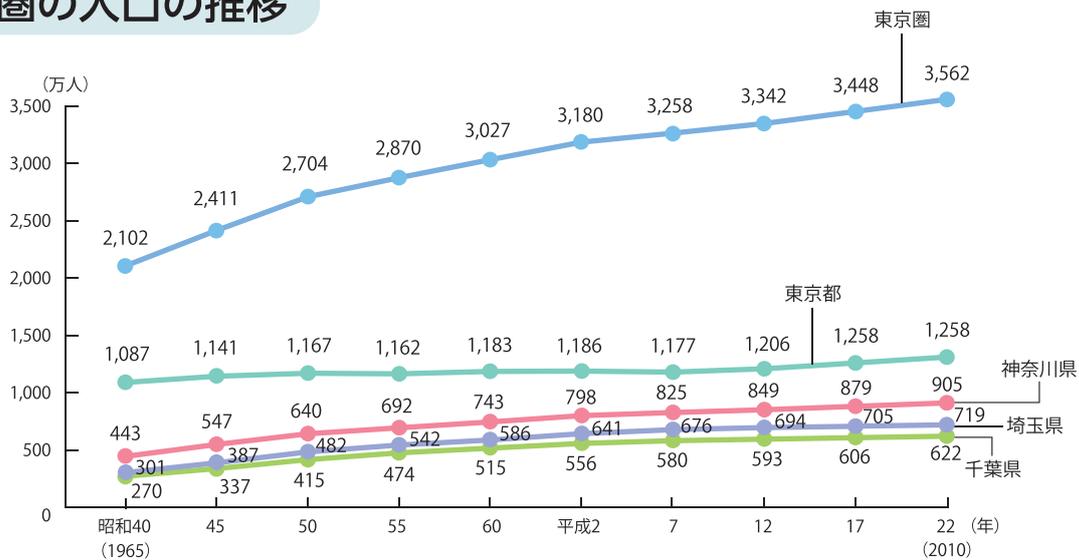
## 市町村別の人口

2015（平成 27）年 1 月 1 日現在



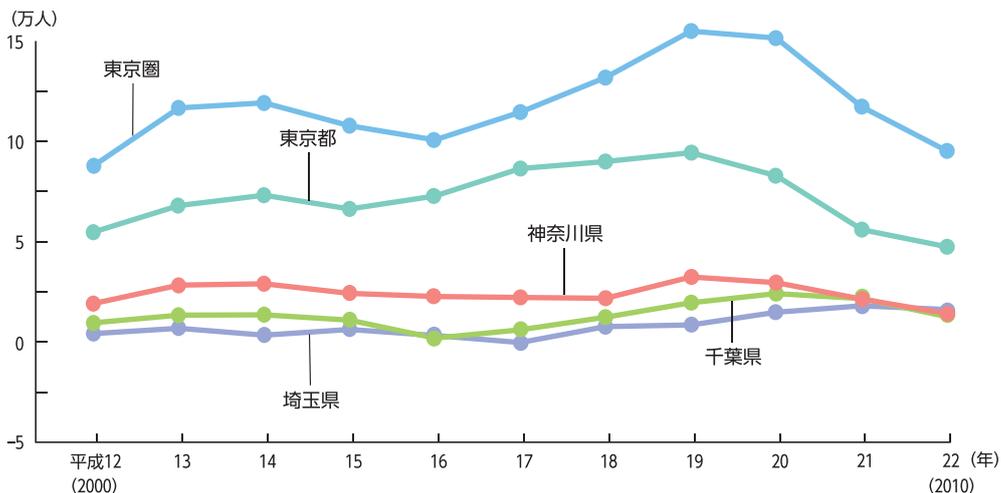
神奈川県年齢別人口統計調査（神奈川県統計センター）より

## 東京圏の人口の推移



神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 平成27年3月 (神奈川県都市計画課) より

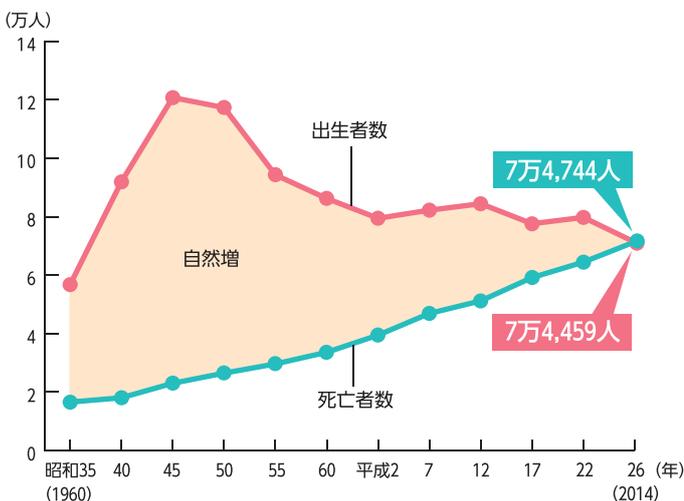
## 東京圏の中の社会増減数



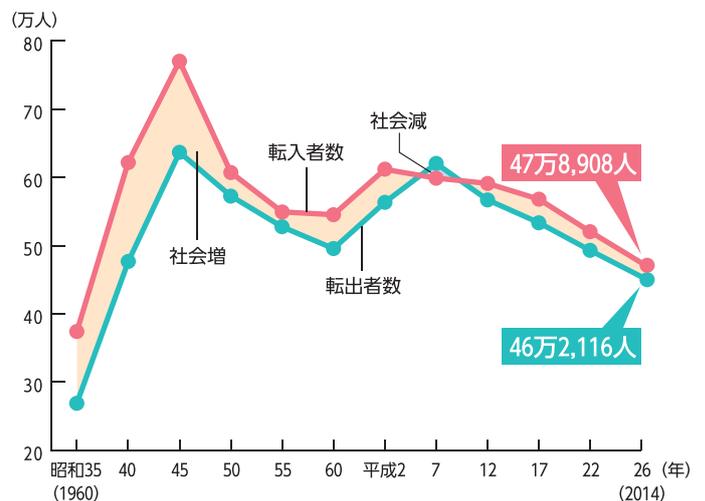
住民基本台帳人口移動報告 (総務省統計局) より

## 自然増加と社会増加の推移

### 人口の自然増加(出生-死亡)



### 人口の社会増加(転入-転出)



神奈川県人口統計調査 (神奈川県統計センター) より

## 2 進む少子・高齢化

全国的に少子・高齢化社会が進む中、神奈川県でも人口構造が大きく変化してきており、人口ピラミッドは0～14歳人口の割合が少ない、いわゆる釣鐘型になっています。

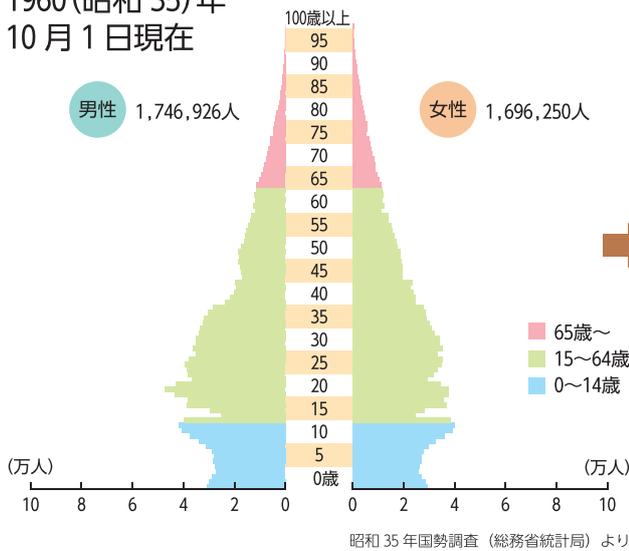
年齢3区分(0～14歳、15～64歳、65歳以上)

の割合をみると、県全体では、全国と比較して少子・高齢化が緩やかに進行しており、2015(平成27)年の0～14歳の割合は約13%、65歳以上の割合は約23%となっています。

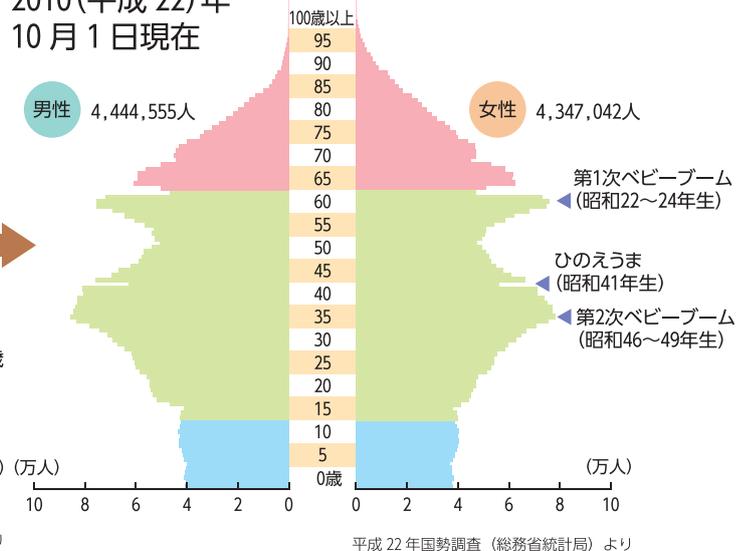
年齢の3区分(0～14歳、15～64歳、65歳以上)の割合を地域別にみると、三浦半島や、県西地域などで65歳以上の割合が高くなっています。

## 人口ピラミッド

1960(昭和35)年  
10月1日現在



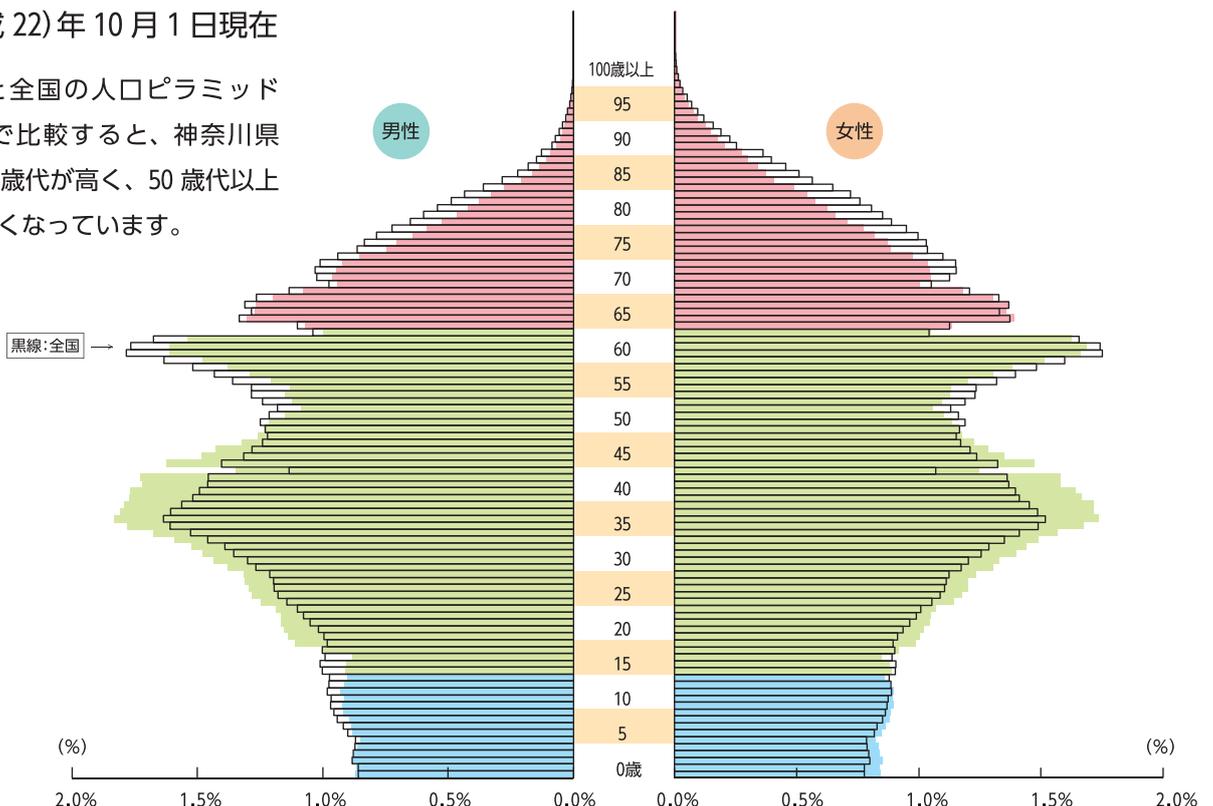
2010(平成22)年  
10月1日現在



## 全国との対比

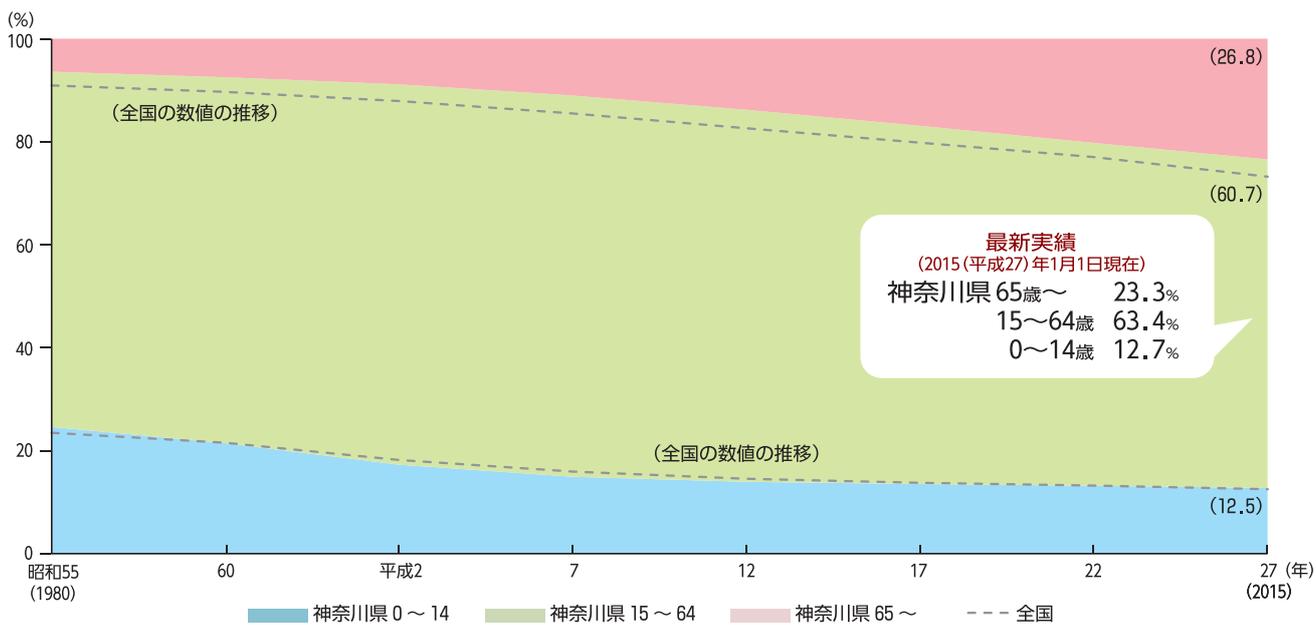
2010(平成22)年10月1日現在

神奈川県と全国の人口ピラミッド(構成比)で比較すると、神奈川県は20～40歳代が高く、50歳代以上の割合が低くなっています。



# 少子・高齢化の進行

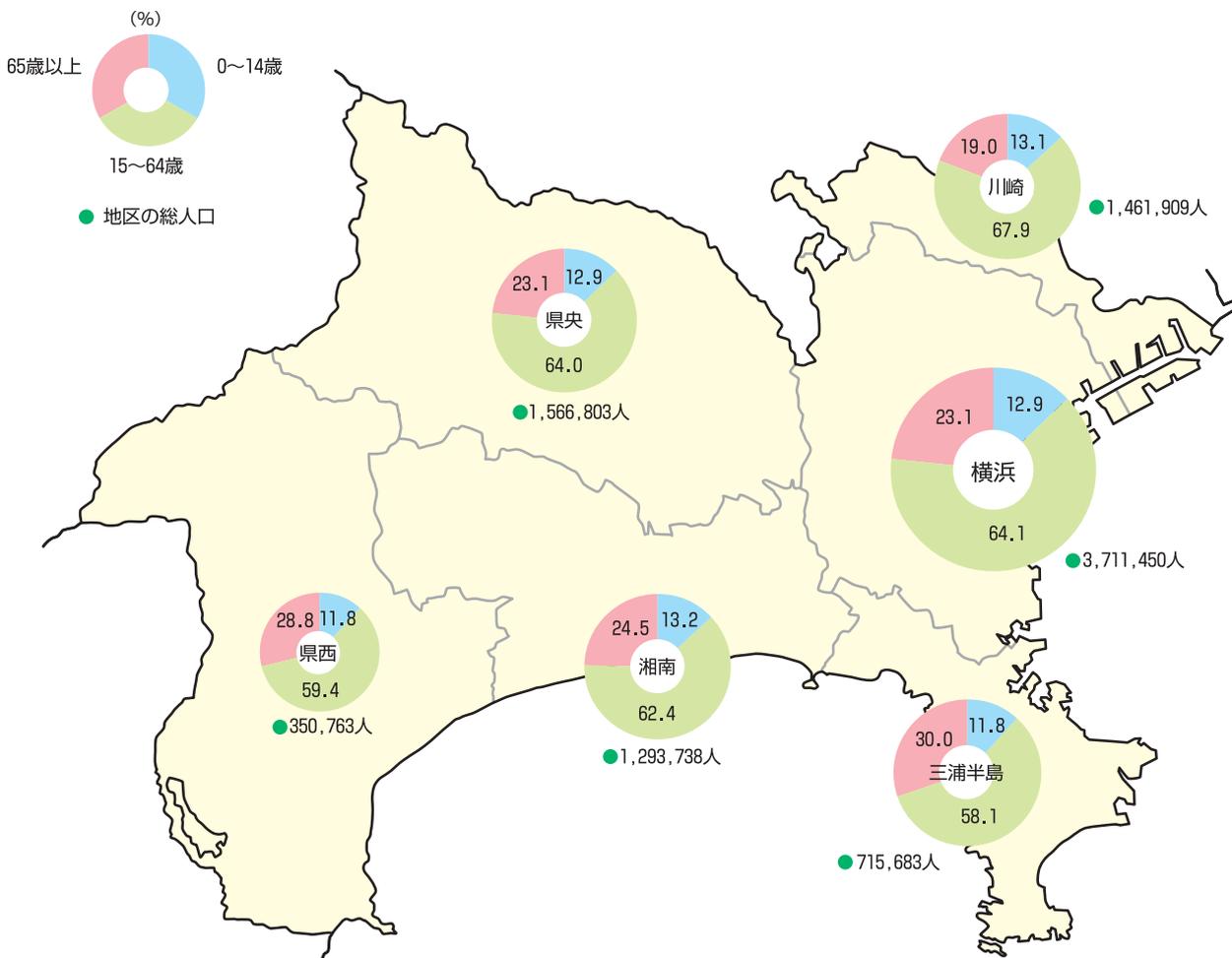
年齢(3区分別)割合の推移 (神奈川県)



神奈川県人口統計調査(神奈川県統計センター)、国勢調査(総務省統計局)、日本の将来推計人口(平成24年1月推計)(国立社会保障・人口問題研究所)より

# 地域別人口の年齢(3区分別)割合

2015(平成27)年1月1日現在



神奈川県年齢別人口統計調査(神奈川県統計センター)より

### 3 格差がみられる地域別人口

東京圏の人口の動きは、2000（平成 12）年から2005（平成 17）年、2005（平成 17）年から2010（平成 22）年ともに、東京圏外縁部において人口が減少している地域が広がっています。

神奈川県は総人口は増加傾向が続いているものの、地域別にみると既に人口減少が始まっている地域もあります。

県内では、2005（平成 17）年から2010（平成

22）年には、東京都に隣接する川崎市や横浜北部などにおいて、9%以上の人口増加率を示す地域がみられますが、県西地域や県央地域西部、三浦半島、横浜南部などで人口が減少している地域がみられます。

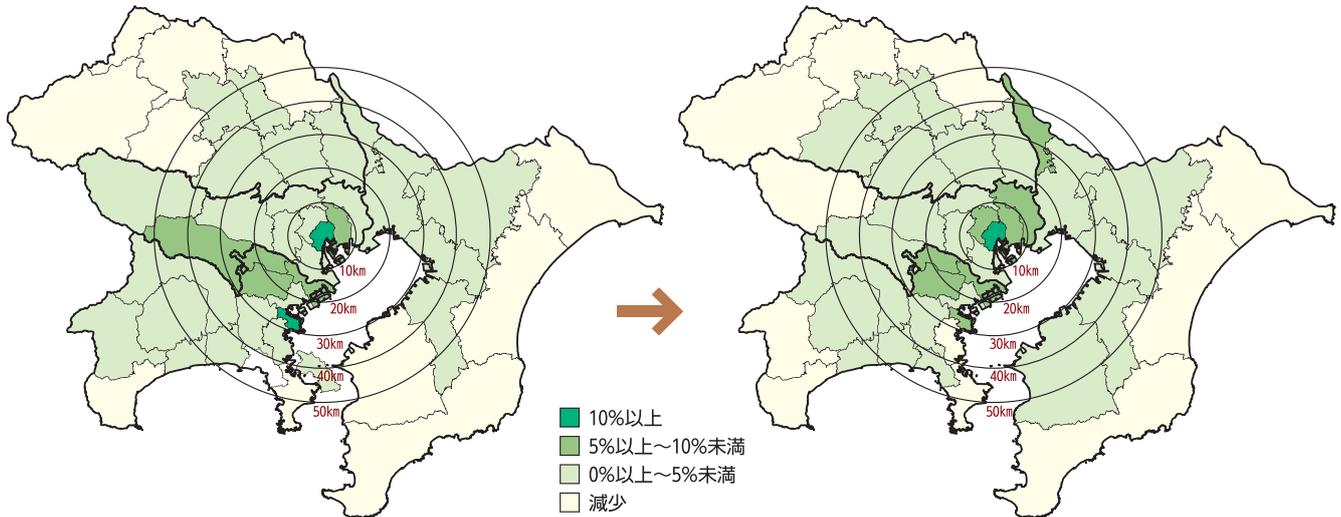
少子高齢化の進行は、県内で一様ではなく、地域による格差があります。現在、65 歳以上の人口割合が高い市町村や 14 歳以下の若年層の人口割合が低い市町村は、県西地域、三浦半島などにみられます。

このように県内でも地域ごとに人口の状況は異なっています。

### 東京圏の人口増加率

2000(平成12)年～2005(平成17)年  
全県：3.6%

2005(平成17)年～2010(平成22)年  
全県：2.9%



$$*人口増加率 = \frac{\text{平成17年人口} - \text{平成12年人口}}{\text{平成12年人口}} \times 100(\%)$$

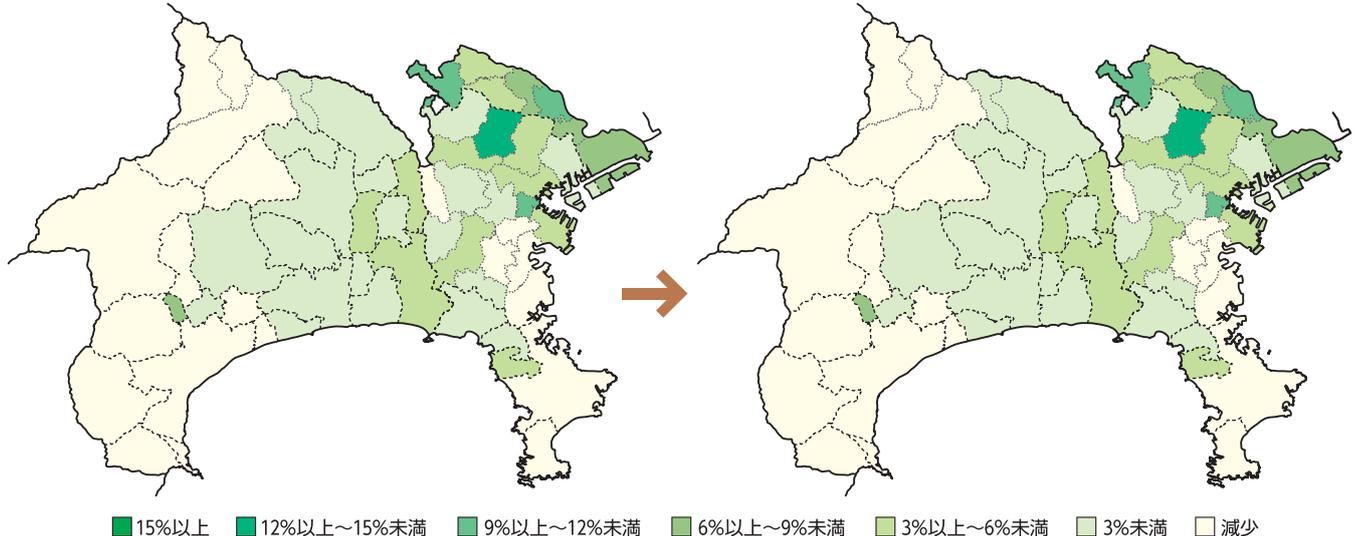
$$*人口増加率 = \frac{\text{平成22年人口} - \text{平成17年人口}}{\text{平成17年人口}} \times 100(\%)$$

神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 平成 27 年 3 月（神奈川県都市計画課）より

### 市区町村別の人口増加率

2000(平成12)年～2005(平成17)年  
全県：3.6%

2005(平成17)年～2010(平成22)年  
全県：2.9%

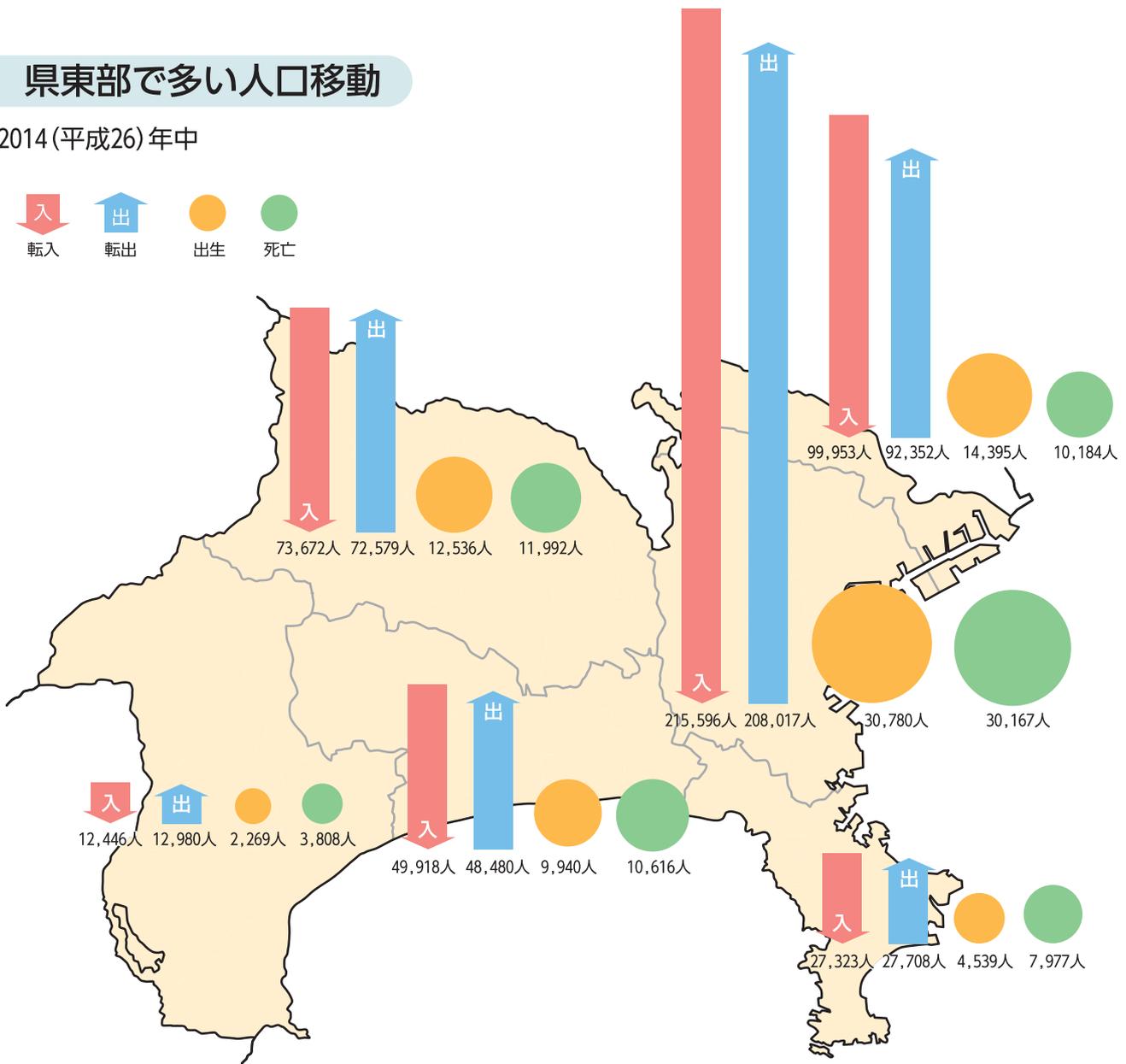


■ 15%以上 ■ 12%以上～15%未満 ■ 9%以上～12%未満 ■ 6%以上～9%未満 ■ 3%以上～6%未満 ■ 3%未満 □ 減少

神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 平成 27 年 3 月（神奈川県都市計画課）より

# 県東部で多い人口移動

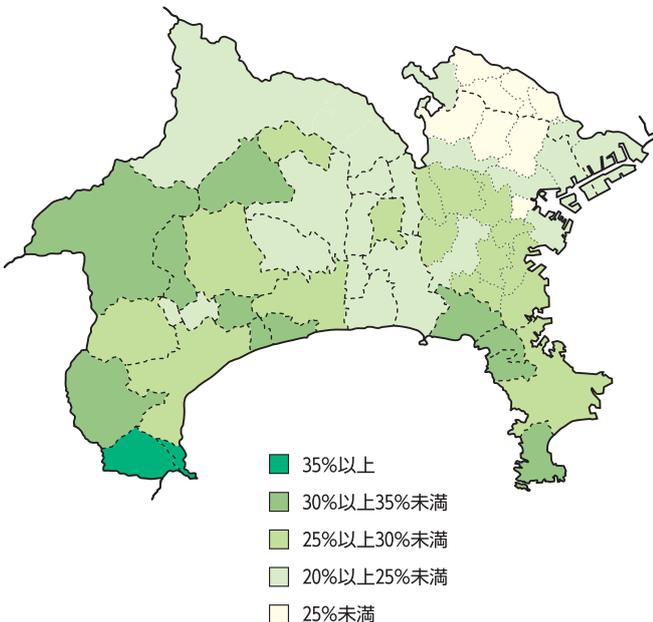
2014(平成26)年中



神奈川県人口統計調査 (神奈川県統計センター) より

## 市区町村別の65歳以上の人口割合

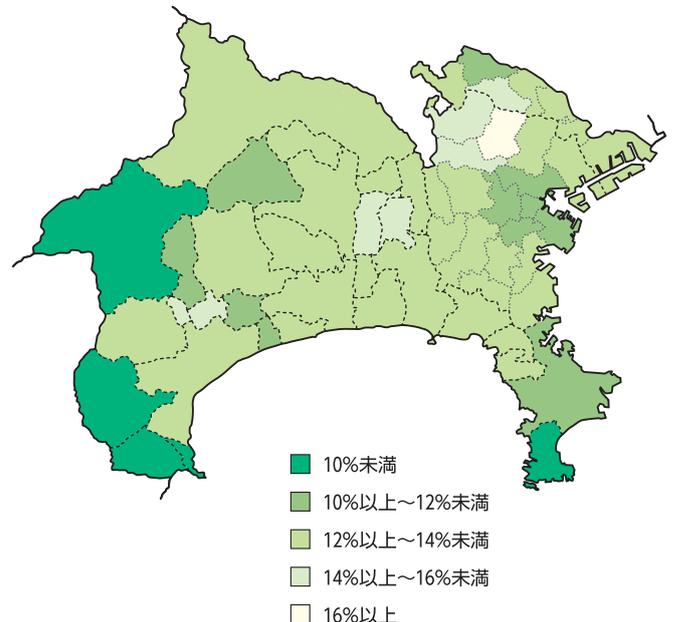
2015(平成27)年1月1日現在



神奈川県年齢別人口統計調査 (神奈川県統計センター) より

## 市区町村別の14歳未満の人口割合

2015(平成27)年1月1日現在



神奈川県年齢別人口統計調査 (神奈川県統計センター) より